

運 営 規 則

1. 運 営

運営規則、大会運営に関する注意事項、競技取決め事項、規定にふれる場合は、主催者の判断により出場停止、没収試合等の処置を行うこともある。

2. 用具・服装

- (1) 監督、コーチ、選手は必ずユニフォームを着用し、チーム全員が統一されたものとする。
ただし、合同・連合チームは、それぞれのユニフォームでよいが、背番号の重複は認めない。
- (2) ユニフォームに背番号（選手0～99番、監督30番、コーチ29、28番、主将10番）をつけること。
- (3) 打者、次打者、走者及びベースコーチは、両耳付きヘルメットを必ず着用すること。
- (4) 捕手は、マスク、ヘルメット、プロテクター、レガーズ、ファウルカップを必ず着用すること。
- (5) 金属製スパイクの使用を禁止する。
- (6) すそ幅の広いストレートタイプのズボンは着用を禁止する。

3. 引率責任者

各チームは必ず引率者（成人20歳以上 監督又は代表者がかねてもよい）をつけることとし、出発から帰宅まで責任を持って行動すること。

4. 試合参加

- (1) チームは試合開始予定時刻の1時間前までに必ず会場へ到着し、大会本部へ届け出ること。試合開始予定時刻になっても会場に来ないチーム及び選手が9名揃っていないチームは、原則として棄権とみなす。
- (2) 降雨その他の理由でその日の試合を行うか否かは、出来るだけ早く大会本部で決定し、当日試合のあるチームに電話連絡をする。なお、大会本部への問い合わせ電話は下記のとおり。

徳島県軟式野球連盟 学童部長 安藝 靖司 TEL090-6881-0016 まで

- (3) 選手の会場における負傷、疾病については、競技が直接の原因であっても応急処置以外は主催者側では一切責任を負わないので、チーム引率責任者はあらかじめこの場合に備え十分留意すること。
- (4) ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を委縮させるような言動を禁止する（2024競技者必携61頁10掲載）
また、相手チームや審判員等に対しても大声を発したり、聞き苦しいヤジを禁止する。

5. 試 合

- (1) 本大会は、2024年度公認野球規則、競技者必携及び本大会要項を適用して行う。
- (2) ベンチは組合せ番号の若いチームを一塁側とする。
- (3) ベンチに入ることの出来る人員は次のとおりとする。（学童部）
登録され、ユニフォームを着用した監督（30番）、コーチ（28番、29番）の3名以内。
登録され、ユニフォームを着用した選手20名以内。
責任者1名、マネージャー1名、スコアラー1名、トレーナー（有資格者）1名、熱中症対策係（保護者）2名。
- (4) 参加申込み締め切り後は、登録選手の変更ならびに追加および背番号の変更は認めない。
- (5) 試合方法は、トーナメント方式、ゲームはすべて6回戦とする。
- (6) 試合時間は90分とし、90分を過ぎて新しいイニングには入らない。
- (7) 延長戦は行わず、同点の場合は引き続きタイブレーク方式（継続打順で無死1・2塁とする）を最大2回とし、なおも勝敗が決しない場合は抽選とする。ただし、決勝戦の場合は投手の投球数制限を遵守し勝敗が決するまでタイブレーク方式を繰り返す。
- (8) 得点差によるコールドゲームは、4回10点差及び5回以降7点差が生じた場合に採用する。
- (9) 試合の途中、暗黒、降雨等で試合続行が不可能となった場合は、5回以降で得点差があるときは正式にゲームが成立したものとし、同点もしくは5回を終了していないときには、後日再試合を行う。ただし、グラウンド等の日程もあり、やむを得ない場合は9名での抽選にて勝敗を決定する。
- (10) 投手は変化球を投げてはいけない。また、投手の投球数を1日、70球までとする。（ただし、4年生以下の場合は60球とする。）打撃の途中で70球および60球に達した場合は、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。
- (11) 申告敬遠について、投手が打者に投球しなくても、監督の申告で打者を四球（フォアボール）にすることができる。
- (12) 攻守交代のときは、球をマウンドに投げず、必ず球を投手又は他の野手が投手板上か、その付近に置いてくること。
- (13) 投手が投球練習するとき、危険防止のため、捕手は必ずマスクとファウルカップを着用すること。
- (14) 内野の転送球は禁止する。
- (15) 各回の第1打者は、準備投球中はネクスト・バッタースボックスで待機する。
- (16) ファウルライン近くで声掛け、及び安全を考慮し、ベンチ前での素振りは禁止する。
- (17) 指名打者ルールを使用することができる。ただし、二刀流選手を採用しない。

以 上